



大平興産(本社・東京、山上毅会長、03-35593-6151)の同社大塚山第3処分場(千葉県富津市)が10月10日、埋立容量の変更に伴う許可を取得し営業を再開した。第2処分場観測井で高濃度の塩化物イオンと高い電気伝導率が検出されたことを受け、千葉県は勧告を受けて処分場への搬入を停止してから、同処分場で搬入が行われるのは2年2カ月ぶりとなる。これまでの経緯と今後の事業の展望について、山上毅会長に話を聞いた。

徹底的な調査と対策

廃棄物受け入れと かけて専用設備で飲め 理め立ての管理を徹底 する程度にまで処理をし している大塚山処分場 て放流してきました。 が、受け入れ停止とな ところが、92年に供 ったときには驚きまし 用を始めた第2処分場 (総埋立容量116万立 方メートル)で岩盤に軽石層 を含む火山灰層が挟ま っていたことが原因 が岩盤遮水構造の管理 で、そこから浸出水が 型処分場で、第1処分 場を建設する際のボー 下流域にある観測井で リンク調査などでも浸 高濃度の塩化物イオン 出水が外部に漏れ出す と高い電気伝導率が検 出されたのです。

ことばないことをきち 出されたいです。 んと確認していきま 出されたいです。 8月2日、県の勧告を 受けて、06年

話題・インタビュー／適正処理



実績と住民信頼が力に

大平興産会長 山上毅氏に聞く

どうしたのですか。 山上 切り立った岩盤 地元の皆さんには、 山上 中立的な第三者で 環境地質学の専門家だ いるNPO法人日本地 質汚染審査機構(楡井 久理事長)に調査を依 頼しました。 調査によって透水層 が特定できました。そ こでこれに対して、合 計64本の揚水井戸を設 置して遮水壁をつく り、浸透水をくみ上げ ます。その後、今年9月18 日に県による使用前検 査が行われ、10月10日 埋立容量の変更に伴 っ 許可を取得したので す。当初の計画時には 95万9225立方メ ートルの埋立容量は、変 更と第3処分場の追加 的な工事で相当な出費 になったのではないで すか。 山上 会社がまたもっ ているのが不思議なく らいです(笑)。

信頼復活に邁進する

第2処分場の対策 ところで同年9月21日 は進めたとして、新た に準備していた第3処 分場についてはどうな ったのですか。 山上 第3処分場は06 年3月28日に使用前検 査が実施されています ところ、第3処 分場は第2処分場山側 にあり、一部が第2処 分場の廃棄物層と重な っていたため、浸透水 の問題を理由に処分業 許可が下りなかったの でした。 遮水性のある岩盤 の上に遮水シートを施 したのですか。 浸出水問題で当社の 事業に反対していた 方々にも、私が直接お 会いして正々堂々と忌 憚らない意見交換をさ せていただきました。 これは容易なこと ではありません。

事業再開となった 景気もよいとは言え ず、リサイクル化が進 展している現在、埋立 処分する産業廃棄物も 減っていると思いま す。この状況で、信頼 回復を進めながら営業 をしていかなければな りません。 しかし、どんなにリ サイクルが進んでも最 終処分場は必要なので す。多額の出費を回収 するだけでも大変です が、私は生命をかけて もがんばりますよ。 今後も適正処理を徹 底していきますので、 行政の皆さんも一貫し た施策で支援してくれ ればと思います。

処分場2年2カ月ぶり再開

大平興産(本社・東京、山上毅会長、03-35593-6151)の同社大塚山第3処分場(千葉県富津市)が10月10日、埋立容量の変更に伴う許可を取得し営業を再開した。第2処分場観測井で高濃度の塩化物イオンと高い電気伝導率が検出されたことを受け、千葉県は勧告を受けて処分場への搬入を停止してから、同処分場で搬入が行われるのは2年2カ月ぶりとなる。これまでの経緯と今後の事業の展望について、山上毅会長に話を聞いた。